



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

インドネシア土木技術セミナー開催報告

インドネシア公共事業省道路研究所、国土交通省国土技術政策総合研究所(国総研)、土木研究所との共催により、「地域開発に関するオープンセミナー」を、2016年2月29日にインドネシア・ジャカルタにおいて、インドネシア公共事業省、観光省、地方自治体、学識者などから約120名の参加者を得て開催した。

セミナーは、アリ・セティアディ・モエルワント氏(公共事業省研究開発庁長官)の開会挨拶で始まり、ヘルマント・ダルダック氏(公共事業省地方インフラ開発庁長官)による基調講演、清水哲夫教授(首都大学東京)による「地域観光開発における交通システム・サービスの役割」と題する特別講義、伊藤正秀氏(国総研道路交通研究部長)による「日本の「道の駅」の概要と運営のポイント」と題する発表のほか、インドネシア側から4編の発表があった。

ダルダック長官からは、同国の新たな取り組みとして日本の道の駅を参考にした「スマート・トラベラーズ・プラザ計画」について紹介があり、清水教授の講義では、今後のインドネシアの観光振興に向け、国内観光需要を喚起させる必要があること、容易に観光地にアクセスできる交通基盤整備が必要であることなどの提言があった。

第2回MES-JSCE ジョイントシンポジウム開催報告

ミャンマー工学会(MES)と、2016年3月21～22日に第2回ジョイントシンポジウムを開催した。山川朝生国際センター長代行、塚田幸広専務理事、白土博通京都大学教授を含め日本からの8名のほか、現地から日本大使館の渡部正一書記官、JICAミャンマー事務所の早川哲史氏、日系企業の複数の会員が参加し、MESからはWin Khaing会長、土木学会国際貢献賞を受賞したHan Zaw元会長をはじめ、約200名が参加した。

初日は、「ミャンマーにおける土木技術者・研究者育成の現状と課題」、および「ミャンマーにおける日本の技術協力の現状と課題」に関する全体セッションに加え、橋梁・水資源管理・道路工学の3分野で日緬双方から研究・プロジェクトを紹介する並行セッションを実施した。2日目はJICAの協力でティラワ経済特別区開発、新タケタ橋建設、ヤンゴン環状線改良の実施状況を見学した。

この3月に発足した新政権では、Win Khaing会長が建設大臣に就任され、土木学会の国際貢献賞を受賞したKyaw Linn建設事務次官は留任となった。学会としては、この「幸運」を生かしてより積極的な交流事業を計画したいと考えている。会員諸氏のご支援・ご協力をお願いしたい。

Event Calendar

国際センターが企画する2016年度のイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai>

News Pick Up! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iad@jsce.or.jp

■ 国際部門ホームページ(日本語版) : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26> ■ (英語版) : <http://www.jsce-int.org/>
■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.jp/> ■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>